



市長・教育長と語る

まちづくりオープンミーティング

・「子どもたちのための  
よりよい教育環境のあり方」



## 本日の流れ



・ 学校規模適正化基本方針について

・ 両荘地区の教育環境について



・ 両荘地区モデルプランについて



## 学校規模適正化基本方針について

### 策定の目的

少子化や地域の偏在により学校規模が変動する中、子どもたちのためのよりよい教育環境を確保するために策定しました。

### 基本方針の内容

児童生徒数・学級数の推移、規模適正化の必要性、適正な学校規模、規模適正化の手法及び今後の規模適正化の進め方をまとめています。

2

## 学校規模適正化基本方針について

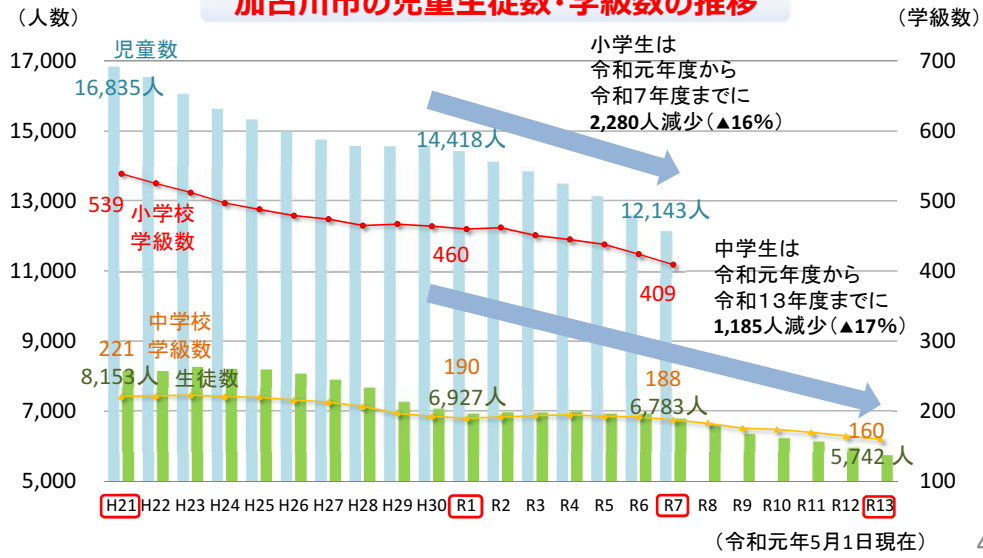
これまでの検討経緯（平成29年度～平成31年度）

時期	内容
平成29年6月～7月	まちづくりオープンミーティング（平荘、上荘、志方、志方東、志方西）
平成30年8月～10月	第1回地域協働推進部会 ・地域の課題について ・コミュニティ・スクールの導入について
平成30年9月5日	第1回地域とともにある学校づくり協議会 ・学校園を取り巻く本市の現状と課題について ・地域協働推進部会進捗状況について ・子どもたちの教育環境のあり方アンケート調査について
平成30年9月～10月	子どもたちの教育環境のあり方アンケート調査
平成30年11月8日	第2回地域とともにある学校づくり協議会 ・コミュニティ・スクールについて ・子どもたちの教育環境のあり方アンケート調査結果について ・各中学校区におけるモデルプランについて
平成30年12月 ～平成31年2月	第2回地域協働推進部会 ・学校運営協議会の設置について ・モデルプランについて
平成31年2月5日	第3回地域とともにある学校づくり協議会 ・第2回地域協働推進部会の報告について ・地域とともにある学校づくりに向けて(案)について
平成31年4月19日	第4回地域とともにある学校づくり協議会 ・平成31年度学校運営協議会設置状況について ・地域とともにある学校づくりに向けて(案)について

3

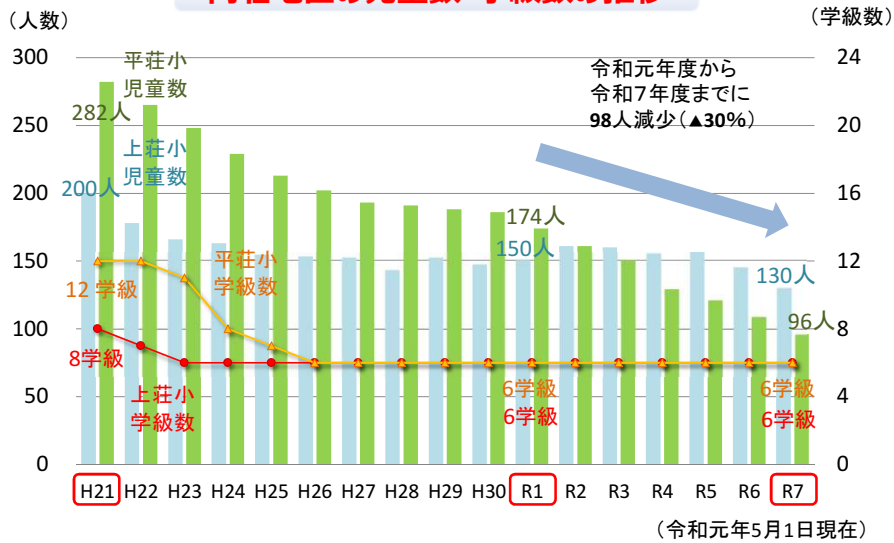
# 学校規模適正化基本方針について

## 加古川市の児童生徒数・学級数の推移



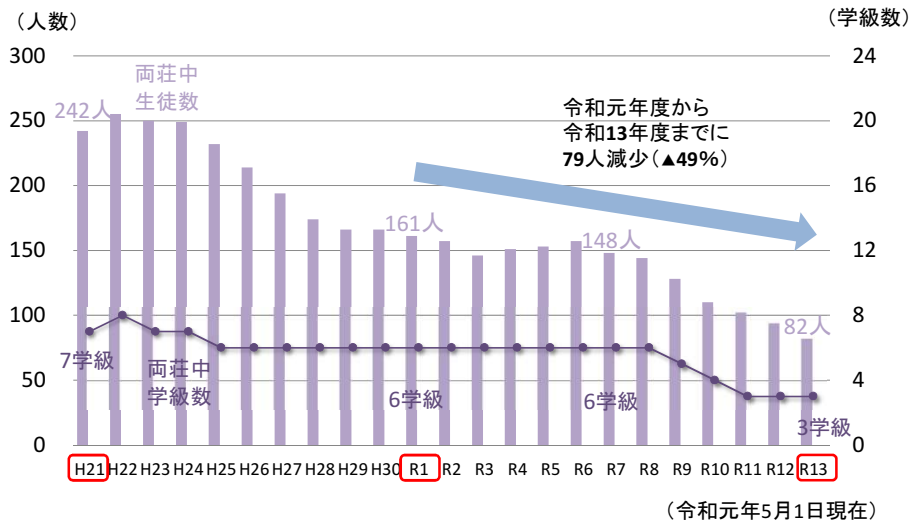
# 学校規模適正化基本方針について

## 両荘地区の児童数・学級数の推移



# 学校規模適正化基本方針について

## 両荘中学校の生徒数・学級数の推移



# 学校規模適正化基本方針について

## 小規模校の特徴

	メリット	デメリット
学習面	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子ども一人一人の学力を把握しやすく、個に応じたきめ細かな指導が行いやすい。</li> <li>○ 子ども一人一人の発表及び体験的な活動等に対する回数や時間が確保されやすいため、達成感や自己有用感を感じやすい。</li> <li>○ 学校全体の実態把握がしやすく、家庭や地域と連携した取組が図りやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小集団のため、多様な考えに触れる機会が少なくなりがちである。</li> <li>● 友人同士や学級間での競争など、切磋琢磨する機会が少なく、向上心や競争心が育ちにくい。</li> <li>● 児童生徒数、教員数が少ないため、グループ学習など多様な学習形態をとりにくい。</li> <li>● 中学校では専門の教科外の授業を担当することがある。</li> </ul>
生活面	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子ども一人一人の生活環境等が把握しやすく、きめ細やかな指導が行いやすい。</li> <li>○ 子ども一人一人が活躍できる場面が多い。</li> <li>○ 異年齢集団の活動が設定しやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人間関係が固定化されやすく、関係が悪くなると解消されにくい。</li> <li>● 部活動の種類や外部指導者が少なくなりがちである。</li> </ul>
学校運営面	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 職員が少ないことから、共通理解や連携が図りやすい。</li> <li>○ 学期末や学年末の成績処理等の事務に要する時間が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一人の職員が担当する校務分掌が多くなる。</li> <li>● バランスのとれた職員配置が難しい。</li> <li>● 作業の分担や行事運営をするための職員数が足りない。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域や保護者の意見が反映されやすい。</li> <li>○ 校庭や特別教室等を比較的自由に使用できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● PTA会員の役割が固定化しやすく、一人一人の負担も大きくなりやすい。</li> </ul>

## 学校規模適正化基本方針について

### 加古川市における適正な学校規模

国の法令、文部科学省の手引き、本市における現在の学校規模の状況、保護者アンケートの調査結果等を踏まえ、学校としてよりよく教育効果が発揮できる適正な学校規模を、次のように定めます。

#### 【加古川市立学校の学校規模の基準】

	小規模	適正規模	大規模
小学校	11学級以下	12学級～24学級	25学級以上
中学校	8学級以下	9学級～24学級	25学級以上

8

## 学校規模適正化基本方針について

小規模校に対する規模適正化は次のような手法が考えられます

### 学校の統合

小規模校同士を統合する

### 小規模特認校の導入

離れた地域からの就学を促進する

### 校区の再編

隣接する校区を変更する

9

## 両荘地区の教育環境について

小規模校のデメリットを緩和する方策として、  
ユニットの活用や地域との交流をしています

- ・心の絆プロジェクト
- ・ふれあい餅つき大会
- ・両荘夏まつり
- ・ユニット両荘美術展  
など



10

## 両荘地区の教育環境について

平荘小学校・上荘小学校における令和7年までの児童数・  
学級数の推移は次のとおりです。

平荘小学校の学年別の児童数・学級数の推移

(令和元年5月1日現在)

	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		合計	
平成21年	2学級	38人	2学級	43人	2学級	50人	2学級	51人	2学級	47人	2学級	53人	12学級	282人
令和元年	1学級	25人	1学級	31人	1学級	25人	1学級	34人	1学級	27人	1学級	32人	6学級	174人
令和7年	1学級	12人	1学級	19人	1学級	17人	1学級	13人	1学級	16人	1学級	19人	6学級	96人

上荘小学校の学年別の児童数・学級数の推移

(令和元年5月1日現在)

	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		合計	
平成21年	1学級	23人	1学級	24人	1学級	36人	1学級	28人	2学級	42人	2学級	47人	8学級	200人
令和元年	1学級	27人	1学級	21人	1学級	31人	1学級	28人	1学級	21人	1学級	22人	6学級	150人
令和7年	1学級	12人	1学級	10人	1学級	32人	1学級	23人	1学級	20人	1学級	33人	6学級	130人

11

## 両荘地区モデルプランについて

地域とともにある学校づくり協議会から地域協働推進部会に対して2つのモデルプランが提案されました。



12

## 両荘地区モデルプランについて

### 施設一体型小中一貫校の提案

加古川市教育委員会は、これまでの様々な協議を鑑みた結果、両荘地区によりよい教育環境を提供するため施設一体型小中一貫校の設置を提案します。

両荘中学校の校舎を増改築し、施設一体型の強みを生かした連続した学びと育ちで、これからを生き抜く力の育成を目指します。



13



## 両荘地区モデルプランについて

全国の施設一体型小中一貫校における教育の先進事例

中学教員による専門的な授業



連続した生徒指導

小中学校教員の協力による部活動



14

## 両荘地区モデルプランについて

全国の施設一体型小中一貫校における施設整備の先進事例

異学年の交流スペース



地域とともにある学校づくり



小中一貫した教育に対応した環境



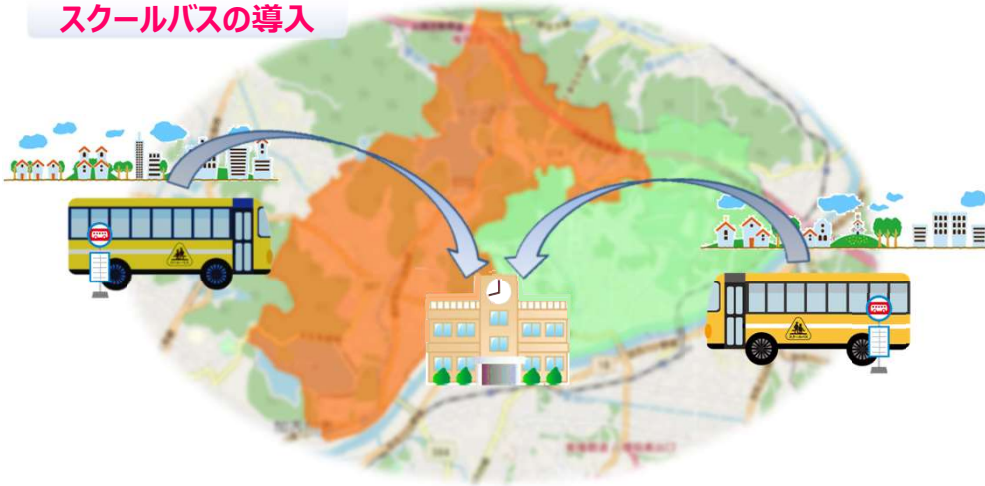
15



## 両荘地区モデルプランについて

施設一体型小中一貫校における通学距離の課題に対して

### スクールバスの導入



16

## 両荘地区モデルプランについて

### これからの予定

令和2年	1月	両荘地区全戸アンケート
	2月	アンケート結果集計・分析
	3月以降	学校運営協議会を中心に方向性について協議

市・教育委員会で決定



17

## 意見交換

国全体で子どもの数が減少する中で、  
今私たちに学校のあり方が問われています

**子どもたちのための**

**よりよい教育環境のあり方について**

一緒に考えていきましょう

※本資料の14ページ及び15ページで使用している画像は他自治体の先行事例を加工したものであり  
説明内容をより具体的に分かりやすくするためのイメージです。